



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社アスタリスク 上場取引所 東
コード番号 6522 URL <https://asx.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 規之
問合せ先責任者 (役職名) 管理統括室長 (氏名) 山本 和矢 (TEL) 050-5838-7864
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	658	△24.2	△160	—	△121	—	△197	—
2023年8月期第2四半期	869	△36.7	△38	—	△23	—	△12	—

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 △187百万円(—%) 2023年8月期第2四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	△27.76	—
2023年8月期第2四半期	△1.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	2,688	1,747	65.0
2023年8月期	2,719	1,934	71.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 1,747百万円 2023年8月期 1,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,813	3.1	△389	—	△366	—	△377	—	△53.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期2Q	7,109,400株	2023年8月期	7,109,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年8月期2Q	一株	2023年8月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年8月期2Q	7,109,400株	2023年8月期2Q	7,065,685株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による景気の影響が和らぎ、社会経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、不安定な国際情勢、資源・エネルギー及び原材料価格の高止まり、世界的な金融引き締め、円安の進行や消費者物価の上昇などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループは、「事業計画及び成長可能性に関する事項について記載した書面」に記載のとおり、次の成長戦略を実行してまいりました。

(既存主力事業)

スマートフォン装着型リーダーの優位性を市場に積極的に発信し、顧客への認知を高める取り組みを進めています。この技術の利点を明確に伝え、従来の専用機からの移行を促進しています。

システム開発においては、新たに小売業界向けの賞味期限管理システムの受注を獲得しました。このシステムは、小売業界における重要なニーズに応えるものであり、今後の成長に大きく寄与するものと考えております。

(新製品の開発/販売)

当社が運営する子会社「こがね製麺 草津栗東店」では、最新のテクノロジーを活用した革新的なセミセルフレジシステムの実証実験を実施しております。このシステムは、顔認証技術、人追跡技術、および重量センサーを組み合わせて、よりスムーズで効率的な店舗運営を実現します。実店舗において実証実験を行うことで、システムの実用性や効果を確認し、さらなる改善や展開に向けた準備を進めています。

さらに、この革新的なセミセルフレジシステムを活用した店舗における人追跡システムの受注も獲得しました。現在、導入を進めるとともに、市場での需要を確認し、さらなるビジネス拡大に向けた戦略を展開してまいります。

(営業力の強化)

大手キャリア様との協業体制を強化し、継続して案件の御紹介を受けるとともに、新規受注の拡大を目指しております。また、その他の営業活動手法の検討を進めております。

(海外展開)

当第2四半期連結会計期間においては、大口案件の獲得に至らなかったものの、いくつかの新規大口案件の商談が進展しています。これらの商談を着実に前進させ、新規大口案件の獲得に向けた営業活動を積極的に展開してまいります。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高658,788千円(前年同期比24.2%減)、営業損失160,872千円、(前年同期は38,044千円の営業損失)、経常損失121,131千円、(前年同期は23,506千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失197,336千円(前年同期は12,349千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①AsReader事業

AsReader事業の連結売上高は524,540千円(前年同期比18.9%減)、セグメント損失は80,772千円(前年同期は35,251千円のセグメント利益)となりました。当社主力商品である「AsReader」の販売では、国内向けでは、自動販売機業界、小売業界、物流業界、医療業界及び自動販売機業界への販売がありました。海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありました。一方で、顔認証レジ関連の新製品の開発及び実証店舗の開店、運営に関する費用や、棚卸資産の評価損の計上、海外における販売実績が当初より遅れている影響などにより、大幅なセグメント損失を計上する結果となりました。

②システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業の連結売上高は128,901千円(前年同期比42.0%減)、セグメント損失は2,597千円(前年同期は26,925千円のセグメント利益)となりました。物流業界向け、小売業界向け、医療業界向けなどのシステム開発の納入、製造業業界、小売業界、食品業界の受注がありましたが、一部案件において進捗の遅れの発生、不採算案件に関して受注損失引当金を計上したため、セグメント損失を計上する結果となり

ました。

③賃貸事業

2023年8月期第2四半期連結会計期間に竣工したAsTech Osaka Buildingの建設地が大阪市の定める特別用途地区(中高層階住居専用地区)に該当することから、7階～9階の3フロアを住居として賃貸することとなりました。当該賃貸開始に伴い、2023年8月期第2四半期連結会計期間より賃貸事業セグメントを追加しております。

2024年8月期第2四半期末において入居率は67%となっており、賃貸事業の連結売上高は5,346千円(前年同期は入居開始前のため売上高はなし)、セグメント利益は506千円(前年同期は1,613千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、2,688,488千円となり、前連結会計年度末の2,719,298千円と比べ、30,809千円の減少となりました。主な要因は、商品及び製品の増加89,655千円、現金及び預金の増加65,045千円、原材料及び貯蔵品の増加18,089千円、有形固定資産の減少21,590千円、その他流動資産のうち前渡金の減少23,265千円、その他投資その他の資産のうち繰延税金資産の減少67,243千円、その他流動資産のうち未収還付法人税等の減少67,441千円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、940,735千円となり、前連結会計年度末の784,393千円と比べ156,342千円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加205,000千円、未払法人税等の増加11,872千円、受注損失引当金の増加10,874千円、その他流動負債のうちの未払金の減少27,237千円、買掛金の減少40,199千円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,747,752千円となり、前連結会計年度末の1,934,904千円と比べ187,151千円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少197,336千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月12日の「第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2024年8月期第2四半期連結業績及び2024年8月期通期連結業績予想について修正しております。

詳細につきましては、2024年4月12日に公表いたしました「第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の将来に対する記述及び業績予想は、本資料発表日現在において当社グループが入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	251,715	316,760
売掛金及び契約資産	267,541	270,218
商品及び製品	646,343	735,998
原材料及び貯蔵品	33,332	51,421
未収還付法人税等	67,441	—
その他	121,882	70,243
貸倒引当金	△3,222	△3,919
流動資産合計	1,385,034	1,440,723
固定資産		
有形固定資産		
建物	484,953	484,953
減価償却累計額	△6,466	△11,315
建物(純額)	478,487	473,638
建物附属設備	166,821	166,821
減価償却累計額	△8,000	△14,255
建物附属設備(純額)	158,820	152,566
構築物	18,101	18,651
減価償却累計額	△609	△1,158
構築物(純額)	17,492	17,492
車両運搬具	641	641
減価償却累計額	△641	△641
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	187,550	193,814
減価償却累計額	△143,449	△160,201
工具、器具及び備品(純額)	44,100	33,613
土地	292,589	292,589
有形固定資産合計	991,490	969,899
無形固定資産	36,649	41,354
投資その他の資産		
投資有価証券	205,250	205,250
その他	101,228	31,261
貸倒引当金	△355	—
投資その他の資産合計	306,123	236,511
固定資産合計	1,334,263	1,247,765
資産合計	2,719,298	2,688,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	129,468	89,268
短期借入金	460,000	665,000
未払法人税等	21,395	33,268
賞与引当金	53,036	46,050
製品保証引当金	9,036	8,638
受注損失引当金	1,765	12,640
その他	108,047	84,225
流動負債合計	782,750	939,092
固定負債		
資産除去債務	1,643	1,643
固定負債合計	1,643	1,643
負債合計	784,393	940,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,937	804,937
資本剰余金	794,937	794,937
利益剰余金	331,562	134,225
株主資本合計	1,931,437	1,734,100
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,467	13,652
その他の包括利益累計額合計	3,467	13,652
純資産合計	1,934,904	1,747,752
負債純資産合計	2,719,298	2,688,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	869,158	658,788
売上原価	560,484	462,098
売上総利益	308,673	196,690
販売費及び一般管理費	346,717	357,563
営業損失(△)	△38,044	△160,872
営業外収益		
受取利息及び配当金	142	77
為替差益	13,522	39,296
雑収入	952	2,527
営業外収益合計	14,617	41,902
営業外費用		
支払利息	80	1,355
貸倒引当金繰入額	—	618
雑支出	—	186
営業外費用合計	80	2,160
経常損失(△)	△23,506	△121,131
特別利益		
補助金収入	2,044	18
特別利益合計	2,044	18
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,461	△121,112
法人税、住民税及び事業税	△8,220	6,967
法人税等調整額	△891	69,257
法人税等合計	△9,112	76,224
四半期純損失(△)	△12,349	△197,336
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,349	△197,336

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純損失(△)	△12,349	△197,336
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	523	10,185
その他の包括利益合計	523	10,185
四半期包括利益	△11,825	△187,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,825	△187,151
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。